

平成 20 年 5 月 23 日

各 位

住 所 東京都港区芝浦二丁目 13 番 8 号  
会 社 名 株式会社アプレシオ  
代 表 者 代表取締役社長 久國 清直  
(コード番号：2460 セントレックス)  
問合せ先 取締役管理部長 田中 耕治  
T E L 0 3 - 5 4 1 9 - 8 6 5 1

### 平成 20 年 9 月期中間および通期の業績予想の修正に関するお知らせ

平成 20 年 9 月期（平成 19 年 10 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）の業績予想について、平成 19 年 11 月 27 日付「平成 19 年 9 月期決算短信」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正

##### (1) 連結

##### ① 中間期（平成 19 年 10 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	1,430	△50	△50	△55
今回修正 (B)	1,437	△196	△229	△291
増減額 (B - A)	7	△146	△180	△237
増減率	0.5%	-	-	-
[参考] 前期実績	1,747	△446	△432	△777

##### ② 通期（平成 19 年 10 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	3,260	100	100	92
今回修正 (B)	3,025	△230	△275	△225
増減額 (B - A)	△235	△330	△375	△317
増減率	△7.2%	-	-	-
[参考] 前期実績	3,607	△714	△697	△1,276

## (2) 個別

### ① 中間期（平成 19 年 10 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	1,400	△52	△52	△57
今回修正 (B)	1,416	△188	△222	△287
増減額 (B - A)	16	△137	△170	△230
増減率	1.1%	—	—	—
[参考] 前期実績	1,726	△450	△436	△779

### ② 通期（平成 19 年 10 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	3,200	95	95	90
今回修正 (B)	2,900	△220	△260	△210
増減額 (B - A)	△300	△315	△355	△300
増減率	△9.4%	—	—	—
[参考] 前期実績	3,548	△718	△700	△1,278

## 2. 修正の理由

### ① 中間期

売上高につきましては、ほぼ予想どおりの 1,437 百万円で推移する見通しであります。

利益面につきましては、直営店の改善に時間を要したこと、一部のフランチャイズ加盟店に対する債権の回収可能性を検討し、保守的に判断した結果、貸倒引当金繰入額を 38 百万円計上したこと、また、投資回収見込が困難である「なんば店」について 31 百万円の減損損失を計上したことにより、営業利益△196 百万円、経常利益△229 百万円、中間純利益△291 百万円となる見通しであります。

### ② 通期

売上高につきましては、上期に締結いたしました業務提携が下期に本格化いたしますが、フランチャイズ加盟店による出店が、経営環境の悪化や当社の業績悪化の影響もあり数店舗に留まる見込みであり、個別では 2,900 百万円と当初予想より 300 百万円下回る見込みであります。また、連結では、上期に設立した株式会社エンコントラルの売上高が寄与するため、3,025 百万円を見込んでおります。

利益面につきましては、投資有価証券の売却や直営店の売却を積極的に進めるとともに、販売管理費の削減にも努め、営業利益△230 百万円、経常利益△275 百万円、当期純利益△225 百万円を見込んでおります。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上